

今日もたべた？本ごはん

とうごうしょうがっこう とうしょかん へいせい ねんど がっこう
東郷小学校 図書館だより 平成24年度 11月号

めざせ100さつ!



うた 11月の詩

こんげつ しんざわ
今月は新沢としひこさんの詩を紹介いたします♪

きみとぼく

しんざわ
新沢としひこ

さつききみが みんなの前で

は 恥ずかしそうに言った言葉は

さつききまも 心の中で

おな 同じように 思った言葉

はじ こんなことは初めて

みみ 耳がちよっと 熱くなる

さつききみが 教室のすみで

だまってる見ていた 小さなクモの巣

きのう 昨日ぼくも 休み時間に

おな 同じように 見つめていたんだ

はじ こんなことは初めて

おん かねの奥が 熱くなる

きみとぼくはちがうのに
きみとぼくはちがうのに

きつと

こころ 心のどこかが 同じなんだね

薩摩川内元氣整レポート!

10月18日、薩摩川内元氣塾に作家の植村紀子さんが来られました。鹿児島県の方言をつかったことばあそびうたや指あそび、本の読みかせなど、鹿児島県の方言いっぱい1時間でした。カラスの人の形をつかった指あそびは思わず笑ってしまいましたね。植村紀子さんから本を寄贈していただき、校長先生からも学校へ本を買っていただきました。ぜひ読んでみてくださいね!



お ぼ ま きせつ 落ち葉舞う季節

11月7日は「立冬」です。陽の光もいちだんと弱くなり、冬の気配がうかが

えるようになります。この日から立春の前日までが冬とされています。立冬の頃に

吹くつめたい強風を「木枯らし」といいます。もうすぐ天気予報で「木枯らし1号」

ということばを耳にするとおもしろいと思いますよ。

さて、先月は“読書月間”でした。読書に関するお楽しみが本当にたくさんあり

ましたね。“ブックリスト”は2学期の間続けていきますので、5冊読んだら図書

室に持ってきて「もう1さつかりられます券」をもらってくださいね。

中山の休日 笑って遊んでコンサート2012

9月22日に川内文化ホールで、中川ひろたか・新沢としひこ・ケロポンズのみなさんのコンサートがありました。新沢としひこさんと中川ひろたかさんといえば、みなさんが学習発表会で合唱する「ともだちになるために」や「にじ」などを作詞作曲された方々です。ケロポンズは親子で楽しめる、歌や遊びや体操や何でもやっちゃう女性二人のスーパーデュオです。「エビカニクス」という振り付きの歌が話題になり、保育園や

幼稚園で踊ったことがある人いるのではないのでしょうか？歌あり、読みかせあり、踊りありの、小さい子どもからおとなまで楽しめる、まさに笑って遊んでコンサートでした！中でも私が一番笑ったのは、「かきのきマン」のミュージックパネル。ケロポンズの増田裕子さんと新沢としひこさんとのかけ合いに大笑いしました。新沢としひこさんはとてもすてきな詩を書かれますが、とてもおもしろいユニークな方でしたよ♪

11月 おすすめの本

なかがわ
中川ひろたかさんと
しんざわ
新沢としひこさんの本を
しょうかい
紹介します！

3さつめ!

おとなは 何で、泣かないんだろう？



『ないた』
中川ひろたか 作 長新太 絵 金の星社

ぼくは一日一回泣いている。ぼくはどうして泣くんだろう？
しかられて泣いて、まいごになって泣いて、犬のシロが死んで
泣いた。おとなはどうして泣かないの？でも、お母さん
のふとんにもぐりこんだとき、お母さんの目からなみだが…。
読みきかせにぴったりの絵本です☆

4さつめ!

9つの手品がのってるよ!



『ことばのくにのマジックショー』
ことば 中川ひろたか マジック 大友剛 絵 大庭明子 アリス館

コップやまがったスプーン、つながる綱、踊る箸…。シンガーソング
絵本ライター・中川ひろたかによる9つのことばと、マジシャン・
大友剛がつくる新しい手品の絵本。絵本は今回が初めてという、大
庭明子のおもしろく、わかりやすい絵がイメージをふくらませます。
手品が9つのっています。家族で、友だち同士で楽しめる絵本です♪

5さつめ!

遠くにはなれて行っても・・・いつまでもともだち。



『いつまでもともだち』
新沢としひこ 作 市居みか 絵 金の星社

年に一度の音楽会キラキラステージに出るりすのコリリンた
ち。ところが、練習していると、おばけが出てきてじゃまをし
ます。みんなが困っていると、「それならさ、キラキラステージは
もうやめにしようよ」と、さるのチョッピーが言い出します。い
っしょにはりきっていたはずのチョッピー。どうして、そんなこ
とを言い出したのでしょうか…？

中山のイチオシ★

満を持して紹介します。上橋菜穂子作品!

私が上橋菜穂子さんの本に出会ったのは去年の春。最初に読んだ『獣の奏者』にすっかりハマって
まいりました。厚さが3センチ以上もある、気が遠くなるような分厚い本ですが、なんとなく手に取ったが最後、
あまりのおもしろさに、1ヶ月半ほどかけて、全4巻+外伝まで読破しました。最後の『獣の奏者IV完結編』
では号泣。絵は一切ありません。絵本を読むのも読書、虫や星の図鑑を見るのも読書、ギネスブックをな
がめるのだって立派な読書です。でも、絵がひとつもない、文字だらけの本を、自分の想像力だけをたよりに
読み進めていくというのも楽しいものです。高学年のみなさんにはぜひチャレンジしてほしいと思います。
おとなでも十二分に楽しめる上橋菜穂子さんの本、イチオシです!!

1さつめ!

上橋菜穂子の長編ファンタジー!



『獣の奏者 (全4巻)』
上橋菜穂子 講談社

決して人に馴れず、また馴らしてはいけない生き物とともに
生きる宿命の少女エリンの物語。
母が指笛を鳴らしたとき、奇跡が起こった。だが、その奇
跡を、母は「大罪」と呼んだ……。
壮大なスケールで描き出す、異世界ファンタジーの決定版!

2さつめ!

おとなもハマる★★★上橋菜穂子作品!



『精霊の守り人』 『闇の守り人』
上橋菜穂子 作 二木真希子 絵 偕成社

人界と精霊界が混在する世界で、女用心棒バルサの活躍を
描いた冒険ファンタジー。精霊の卵が宿ったチャグム皇子をバルサが
守る。 (『精霊の守り人』)
生まれ故郷のカンバル王国に戻ったバルサは、育ての親のジグ
口の汚名を晴らそうとする。それは王国の秘密をめぐる戦いとな
った。 (『闇の守り人』)